

7月は、安全・適正就業強化月間です！

全国のシルバー人材センターでは、国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全・適正就業強化月間」とし、全国統一安全就業スローガン「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」を掲げています。

広島市シルバー人材センターにおいても、独自の安全スローガン「油断するな 慣れた仕事に 危険が潜む」を掲げ、職員と会員の皆様に組織をあげて事故の撲滅を図っていくこととしています。

この期間中に、理事長をはじめ安全・適正就業部会の委員による就業現場視察を行います。



広島市シルバー人材センター安全スローガン

事故発生状況

6月末現在、傷害事故は2件で昨年度同月と比較して2件減少、賠償事故は5件で1件増加しています。6月は新たに賠償事故が2件発生しています。内1件は剪定作業中に発生したものです。夏場は剪定・除草の業務において毎年賠償事故が多発しています。シルバー会員の皆様一人ひとりが、安全就業を心掛けて作業に取り組んでください。

(各年度6月末現在)

区分	令和7年度	令和6年度	差
傷害事故	2件	4件	▲2件
賠償事故	5件	4件	1件
計	7件	8件	▲1件



安全はすべてにおいて優先する

～ 転倒事故に気を付けてください!～

毎年転倒事故が多発しており、過去3年間では、傷害事故全体の中で約3分の1を転倒事故が占めています。

事故の内容は、

- ・就業途上に、つまずいて転倒した
- ・就業中に、不意にバランスを崩して転倒した

など、老化による身体機能の低下に起因すると考えられます。

このような現状を鑑み、センターでは転倒事故を防止するため、三宅産業医の協力を得て、毎月「事務局だより」で、転倒防止に役立つ様々な情報を掲載します。

今月は、転倒しやすい場所をチェックするための合言葉㊦㊧㊨㊩です。是非、ご覧ください。また、今後、広島大学と連携し、転倒防止講座を実施する予定です。詳細が決まり次第ご案内しますので、是非、ご参加ください。

以下は武藤芳照様(東京健康リハビリテーション総合研究所)作成の、転倒予防についての資料です。ぜひご一読ください。

－ 転倒予防は、なぜ必要？ －

- ・ 転んで、骨を折って、介護が必要になったり、寝たきりになるのを防ぐため

そうすることで・・・

- ・ 行きたいところに自分で行ける
「足腰の強さ」「体力」「自信」
「希望」をいつまでも保っていただき、
日々の暮らしを、
より心豊かにするため



転倒しやすい場所を チェックするための合い言葉

ぬ



か



づけ



ぬ れている所は
すべりやすいので、気をつけよう

台所



風呂場



雨の日の
マンホール
の上



落ち葉
の上



雨の日の
横断歩道
の上

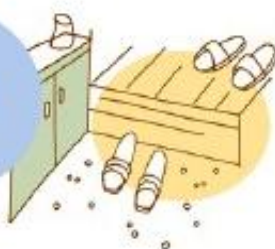


か いだん、段差があるところは
転びやすいので、気をつけよう

敷居・
ふすまの
サン



玄関



階段



ちょっとした
段差



目の不自由な
方のための
点字ブロック



片**づけ**てない部屋は
つまずきやすいから、気をつけよう



転倒しやすい場所を
チェックするための合い言葉

ぬれているところは、すべりやすい



かいだん、段差があるところは、転びやすい



片**づけ**てない部屋は、つまずきやすい

